

平成29年度 苫小牧市立明倫中学校 学校改善プラン

【学力向上アクションプランの具体】

1 授業改善の徹底した取組の推進

- 全国学力・学習状況調査、市統一学力検査の結果等を分析・考察を踏まえた授業改善
 - 【継続】・下位層（下位30%）への指導の重点化。 ・「比較的間違いやすい問題」を取り上げた指導。
 - ・チャレンジテストの積極的な活用。 ・教科掲示の工夫。
 - 【改善】・基礎学力調査の活用 ・数値目標の設定（下段参照）
- 放課後や長期休業中の補充的な学習の推進
 - 【継続】・学習会の目的に「基礎学力の定着」を継続し、「学習習慣の定着」を追加。 ・個別指導の充実。
 - ・学年段階における学習会の工夫。 ・長期休業中の学習会の実施
 - 【改善】・放課後学習会や長期休業中学習会の充実。
- 指導方法工夫改善加配や特別支援教育支援員配置に伴うTT指導や習熟度別指導の充実。
 - 【継続】・数学科、英語科の重点的な指導。
 - 【改善】・数学科（全学年）の習熟度別指導やT3指導の工夫と英語科のTT指導（全学年）の充実。
 - ・特別支援教育支援員による個別支援や放課後学習会の充実。
- 教務部・教科部会・校内研修との連動
 - 【継続】・学習のきまりの徹底。 ・学習課題の明確化、課題に正対したまとめの工夫。
 - ・確かなまとめにつながる言語活動の充実。 ・全教員による研究授業の実施。
 - 【改善】・まとめにつながる学習活動を意識した授業づくりの徹底。 ・学習のきまりの改善。（小学校との連動）
 - ・焦点化、イメージ化、視覚化できる授業改善。

2 小・中学校間の学習指導の連携

- 研究会への相互参加及び日常的な授業交流
 - 【継続】・研究会等への相互参加にかかわる授業交流。 ・教科指導を柱とした連携。
 - 【改善】・日常的な授業交流・連携。 ・外国語活動に関わるLITの派遣及び小学校への出前授業等の実施。
- 全国学力・学習状況調査、市統一学力検査の結果等を分析・考察の共有
 - 【継続】・学習状況の把握からの指導計画等の作成。 ・「比較的間違いやすい問題」の指導の強化。
 - ・重点化すべき単元・領域等の把握とその対策。 ・個人データの引継ぎ・作成。
- 小・中学校間における児童・生徒の実践交流
 - 【継続】・長期休業中及び6校引継ぎ会議での校務部間交流。 ・エリア経営会議の実施
 - 【改善】・合同防災訓練や合同合唱等による交流
- 中一ギャップの対応強化
 - 【継続】・複数回の引継ぎ。 ・春休みの家庭学習の充実。 ・新入生に対する春休みの課題の提示・充実。
 - 【改善】・新入生体験入学や保護者説明会の充実

3 学校教育と家庭教育の連携・協力の推進

- 家庭学習の推進
 - 【継続】・「家庭学習入門書」の活用及び週末課題の工夫。 ・チャレンジテストの活用。
 - ・宿題内容を盛り込んだ小テスト等の実施。 ・家庭学習ノート提出ボックスの設置。
- PTA活動と連携した家庭教育力の向上を目指した懇談会等の開催
 - 【継続】・「家庭学習の充実」をテーマとした懇談会の開催。 ・進路説明会、三者懇談会の工夫・充実。
 - ・「とまこまい学びの3か条」の説明会を実施。 ・子育て学習会の開催。
- 基本的な生活習慣の定着
 - 【継続】・「生活リズムチェックシート」や「長期休業中の計画表」等を活用した「早寝早起き朝ごはん運動」の推進。
- メール配信システムや学校ホームページの活用
 - 【改善】・1か月に複数回程度の情報発信を充実。

検証

- ◇ 全国学力・学習状況調査（4月、9月） ◇ 苫小牧市統一学力検査（9月）
- ◇ チャレンジテスト（通年） ◇ 苫小牧市基礎学力調査（2月）

到達目標

- ◆ H29年度全国学力・学習状況調査
数学A・数学Bで、昨年度の本校比
で+1.5ポイント以上の平均正答率。
- ◆ H29年度苫小牧市統一学力検査
国語・数学ともに昨年度の本校比で
+1.2ポイント以上の偏差値。
- ◆ チャレンジテスト
 - ・3年生は、平成29年度末までに一度は全道の平均正答率以上。
 - ・2年生は、平成29年度末までに一度は全道の平均正答率以上。
 - ・1年生は、平成29年度末までに一度は全道の平均正答率以上。

【保護者・地域との連携】

1 学校評価の実施と公表

【継続】・学校関係者評価、教育アンケートの実施。

【改善】・学校だよりや学校ホームページの有効活用（公表等）。 ・学校関係者評価の評価項目の検討。

2 家庭教育力の向上

【継続】・保護者来校の促進（参観日や学校行事の工夫）

検 証

◇ 学校関係者評価（適時） ◇ 教育アンケート（12月）

到達目標

- ◆ 各項目のC・D評価を20%以内。
- ◆ 教育アンケートの回収率80%以上。

【心の教育】

1 道徳の時間の一層の充実

【継続】・外部講師を活用した体験的な学習。

【改善】・「私たちの道徳」「はあとふる2」を活用した授業展開の充実。 ・特別の教科「道徳」に向けた全体計画等の見直し。

2 特別支援教育支援員や心の教室相談員との連携

【継続】・個別指導や教育相談の充実。

【改善】・焦点化した生徒への対応と担任等との連携強化。

検 証

◇ 教職員による自己評価

到達目標

- ◆ 「道徳教育」評価5項目において、すべての項目を「3.5」以上。

【健康・体力】

1 体力向上プランの確立

【継続】・新体力テストの全校実施、及びその結果を踏まえた指導の改善。 ・新体力テストの複数回実施。
・家庭と連携した生活習慣の取組。

【改善】・体力手帳の活用。 ・「どさん子元気アップチャレンジ」への全学年参加。 ・保健体育の授業改善。
・地域や小学校との連携（体力手帳の引継ぎ、地域人材の活用、9本綱引きレクの開催）。

検 証

◇ 新体力テスト（8月・2月）等

到達目標

- ◆ 「立ち幅とび」は、男子平均を「186cm」以上、女子平均「150cm」以上。
- ◆ 「シャトルラン」は、男子平均を「77回」以上、女子平均を「42回」以上。
- ◆ 新体力テストの生徒質問紙調査「運動が好き」と回答する生徒の割合を70%以上。

【生徒指導体制】

1 個別指導の充実

【継続】・アンケート調査等による実態把握とその指導・支援の充実。

・年間3回の教育相談の実施。
・個人票作成・活用による継続的かつ組織的な対応。

2 生徒指導体制の強化

【継続】・小中学校間の連携強化。 ・生徒指導委員会の活性化。（不登校対策に特化した取組）

【改善】・いじめ撲滅を目指した生徒による主体的な活動の推進。

3 関係機関との連携の強化

【継続】・外部講師を活用した心に響く教育活動の推進。 ・スクールソーシャルワーカー等の積極的活用。
・いじめや非行問題における連携強化。

【改善】・適応指導教室との連携。 ・校内教育支援委員会と不登校生徒相談会の連動性の充実。

検 証

◇ 全国学力・学習状況調査（4・9月） ◇ 不登校の実態

◇ いじめアンケート調査、生活アンケート調査（6・11・2月）

到達目標

- ◆ 「自尊意識・規範意識」（生徒質問紙調査）の項目で、そのすべてを全国平均以上。
- ◆ 不登校生徒数半減。 ◆ いじめ解消率100%。